



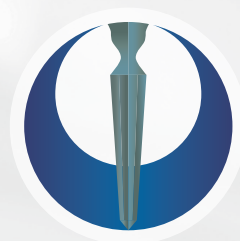
経済産業省  
東北経済産業局

見せてほしい、あなたのものづくり。

# 第10回 ものづくり 日本大賞

東北地方の受賞者・企業紹介

MONODZUKURI NIPPON TOHOKU vol.10



# CONTENTS

## 経済産業大臣賞

製品・技術開発  
部門

**新素材を用いた次世代型ステンレスケミカルタンカーの開発とその大型化**  
北日本造船株式会社 他1団体／久保田 聡 他6名／青森県八戸市……………5

## 優秀賞

製造・生産プロセス  
部門

**電動車分野をめっきでレポリューション!**  
スズキハイテック株式会社／鈴木 尚徳 他6名／山形県山形市……………7

## 東北経済産業局長賞

製造・生産プロセス  
部門

**製材加工の全自動ライン確立による生産性向上**  
株式会社庄司製材所 他1団体／庄司 和敏 他6名／山形県真室川町……………9

製品・技術開発  
部門

**世界初!睡眠の質を改善する三陸イサダオイル粉末素材製造技術開発**  
株式会社國洋 他1団体／濱田 浩司 他6名／岩手県大船渡市……………10

製品・技術開発  
部門

**磁場の特性をフル活用して様々な動作・機能を可能にした非接触動力伝達装置**  
株式会社プロスパイン／操谷 欽吾 他6名／宮城県大崎市……………11

製品・技術開発  
部門

**メタボローム解析を活用した世界に通ずる庄内産日本ワインの開発製造**  
エルサンワイナリー松ヶ岡株式会社／早坂 剛 他5名／山形県鶴岡市……………12

製品・技術開発  
部門

**電源基板用のノイズフィルターコイルを根底から革新した、世界標準の「ウエノコイル」**  
株式会社ウエノ 他1団体／上野 隆一 他5名／山形県鶴岡市……………13

製品・技術開発  
部門

**新機構「手動解除機能」を備えたEV向け永久磁石式電磁ブレーキの開発・製造**  
ケーイービー・ジャパン株式会社／鈴木 生洋 他4名／山形県新庄市……………14

製品・技術開発  
部門

**クラッド材を使用したEV自動車向け電極プラグの開発**  
石橋工業株式会社／石橋 トモ子 他1名／福島県郡山市……………15

伝統技術の応用  
部門

**和食を世界へ。食の多様化に完全対応した「金箔しいたけ」と「北斎旨みだし」**  
株式会社北斎 他3団体／斉藤 努 他3名／青森県青森市……………16

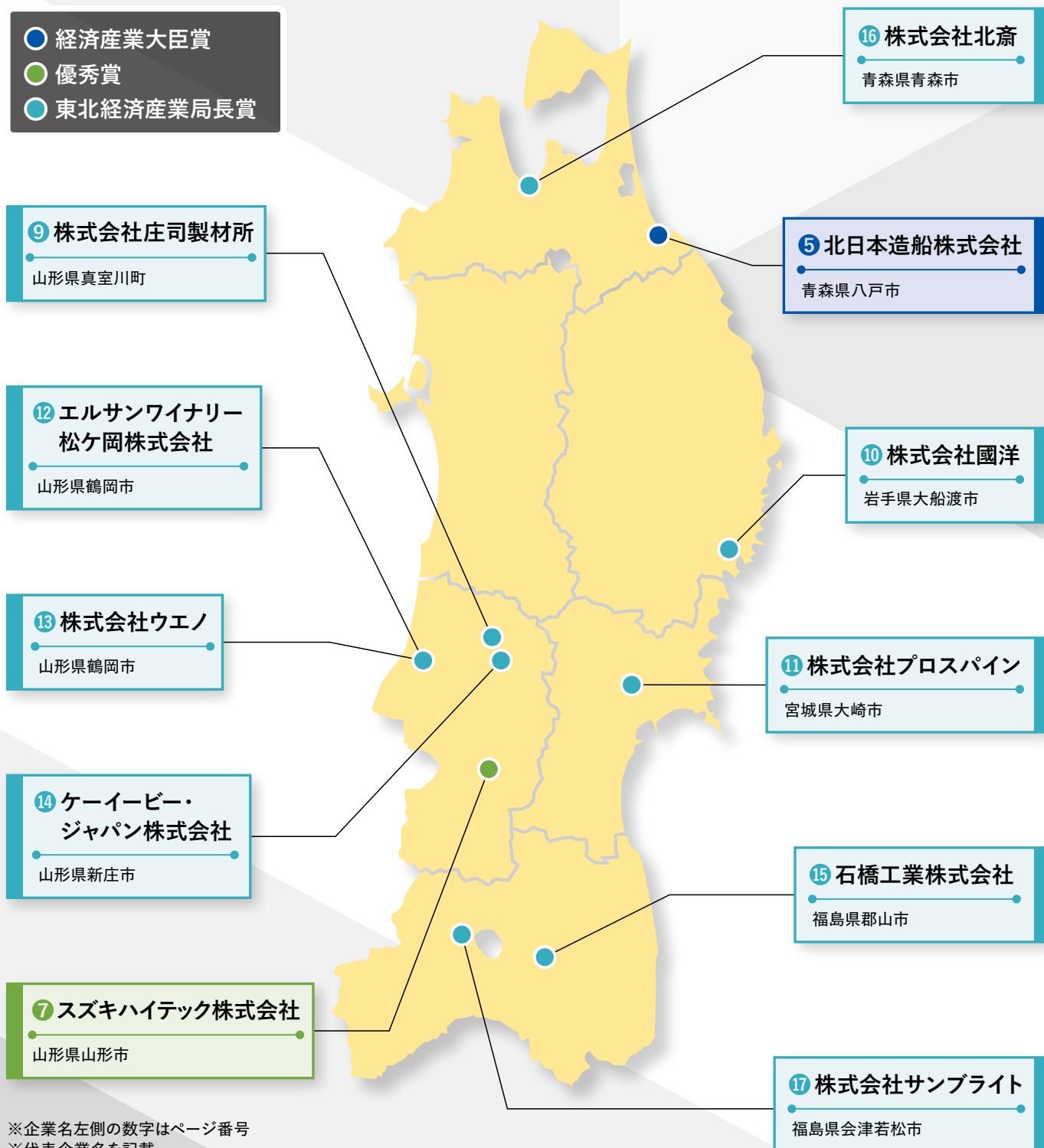
伝統技術の応用  
部門

**精密部品切削加工技術と会津の伝統工芸を融合させた“あいくし”の開発**  
株式会社サンブライト 他5団体／渡邊 忍 他5名／福島県会津若松市……………17

# 第10回 ものづくり日本大賞

## 東北地方の受賞者・所属企業

- 経済産業大臣賞
- 優秀賞
- 東北経済産業局長賞



※企業名左側の数字はページ番号  
※代表企業名を記載

# はじめに



東北経済産業局長  
佐竹 佳典

「第10回ものづくり日本大賞」を  
受賞された皆様にご心よりお祝いを申し上げます。

平成17年に創設された、ものづくり日本大賞は10回目の節目を迎え、東北地域の受賞は150件を超えました。

今回も新たに、東北の地から、皆様の優れたものづくりの事例を広く社会へ発信できることを、大変喜ばしく思っております。

本書で紹介させていただく11件の取組は、

人材不足やカーボンニュートラルといった社会的課題に向き合いながら、画期的な製品・技術の開発、省力化や生産性向上を実現する

製造・生産プロセスの改善、伝統技術を巧みに応用した

新たな付加価値の創出など、

いずれも極めて意欲的で革新性に富んだものばかりです。

長年にわたり技術を磨き、

その価値を高めてこられた皆様の御尽力に、心より敬意を表します。

受賞された皆様一人一人の確かな技術、創意工夫、

そして品質への揺るぎないこだわりを次世代にも継承いただき、

今後とも日本の「ものづくり」を牽引いただくことが、

我が国の未来を拓く原動力となることを確信しており、

本書がその一助なることを祈念いたします。

令和8年3月

## ◎ 第10回ものづくり日本大賞受賞件数 (東北経済産業局管内関係)

内閣総理大臣賞(経済産業省関係)	0件	0名
経済産業大臣賞	1件	7名
特別賞	0件	0名
優秀賞	1件	7名
東北経済産業局長賞	9件	50名

## ◎ 第10回ものづくり日本大賞受賞件数(全国)

内閣総理大臣賞	経済産業省関係	2件	13名
	国土交通省関係	3件	5名
	厚生労働省関係	2件	6名
	文部科学省関係	1件	1名
経済産業大臣賞		13件	59名、1団体
特別賞		0件	0名
優秀賞		22件	111名

## ◎ 開催別受賞実績

	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	合計
第1回	-	-	3	1	-	2	6
第2回	-	3	3	2	4	2	14
第3回	1	-	5	2	4	5	17
第4回	-	2	5	1	1	6	15
第5回	3	2	3	1	5	4	18
第6回	4	2	7	1	8	1	23
第7回	3	3	4	1	6	1	18
第8回	1	1	3	3	9	-	17
第9回	-	2	3	2	3	9	19
第10回	2	1	1	-	5	2	11
合計	14	16	37	14	45	32	158

## 制度概要

ものづくり日本大賞は、日本の産業・文化の発展を支え、豊かな国民生活の形成に大きく貢献してきた

ものづくりを着実に継承し、新たな事業環境の変化にも柔軟に対応しながらさらに発展させていくため、

ものづくりの第一線で活躍する各世代のうち、

特に優秀と認められる方々を表彰する制度です。

特に、昨今我が国製造業が直面している

様々な事業環境の変化に柔軟に対応し、

新たな付加価値を提供する人材にスポットライトを当て、

広く発信していくことを目的としています。

それによって、ものづくりに携わる全ての方々の意欲向上、

ひいては我が国製造業が今後も力強く成長していくための

原動力となることを期待するものです。

本賞は、経済産業省、国土交通省、

厚生労働省及び文部科学省の4省庁連携により、

平成17年（2005年）より隔年開催しており、

今回で10回目を迎えました。

経済産業省では、内閣総理大臣賞2件、

経済産業大臣賞13件、優秀賞22件を選出しています。

## 第10回ものづくり日本大賞の 表彰対象部門（経済産業省関係）は次のとおりです。

### 産業・社会を支えるものづくり

#### ① 製造・生産プロセス部門

製造・生産工程における画期的なシステムや手法の開発・導入によって、生産の抜本的効率化などの生産革命を実現し、サービス・ソリューション提供等も含めた幅広い取組も交えながら新たな付加価値を創出した個人又はグループを表彰します。

#### ② 製品・技術開発部門

優れて画期的な製品若しくは部品や素材等の開発・実用化を実現し、サービス・ソリューション提供等も含めた幅広い取組も交えながら新たな付加価値を創出した個人又はグループを表彰します。

#### ③ 伝統技術の応用部門

地域に根ざした文化的な技術や、熟練人材により受け継がれてきた伝統的な技術の工夫や応用によって、革新的・独創的な製品若しくは部品や素材、生産プロセス等の開発・実用化を実現し、サービス・ソリューション提供等も含めた幅広い取組も交えながら新たな付加価値を創出した個人又はグループを表彰します。

#### ④ データ利活用による新価値創出部門

データ利活用等を通じて機械、技術、人など様々なものをつなげることで、新たな付加価値の創出や課題解決を進めた個人又はグループを表彰します。

### ものづくりの将来を担う高度な技術・技能

#### ⑤ 人材育成支援部門

第4次産業革命に対応するデジタル人材育成をはじめとした日本の将来のものづくり人材育成支援において、その活動が目覚ましいと認められる企業、NPO等を表彰します。

国産技術で世界市場に挑む世界初「NSSC2351」を用いた

# 次世代型

# ステンレスケミカルタンカー



第10回  
ものづくり日本大賞  
経済産業大臣賞

製品・技術開発部門



左から、橋本剛志、カ石泰祐、森陽彦、豊川剛、三浦一雄、久保田聡、枠外は、岡本勉

## 受賞者メッセージ

現場の「ものづくり」の力、設計技術の革新を経て新素材を活用し高付加価値で環境対応を取り込んだ世界初のケミカルタンカーが誕生いたしました。

環境対応が叫ばれ二元燃料へ切替わっていく中、風力、推進、抵抗、素材という所から概念を覆した、ゼロエミッションの足掛かりとなる新発想の革新船となります。

受賞件名

新素材を用いた次世代型  
ステンレスケミカルタンカーの  
開発とその大型化

受賞者  
(全員)

北日本造船株式会社

リーダー 久保田 聡

豊川 剛 / 森 陽彦 / 三浦 一雄 / カ石 泰祐 / 岡本 勉 / 橋本 剛志※  
※日鉄ステンレス株式会社

## 受賞理由

01 新たな素材の二相ステンレス鋼を採用したケミカルタンカーを開発

02 中国勢に対抗し、従来比コスト29%減、レアアース使用料も半減

## 会社概要

商号：北日本造船株式会社 設立：1969年4月5日  
従業員数：約1,350名(協力会社を含む)  
事業内容：  
船舶の建造、構築用金属製品の製造及び販売、土木工事の施工、海運業、上記に附帯する一切の業務

## お問い合わせ先

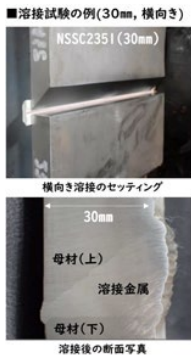
北日本造船株式会社

〒031-0801 青森県八戸市江陽3-1-25

TEL:0178-24-4171

<https://kitanihanship.co.jp/>





■合金量の比較

	化学成分 wt.%	合計
SUS316L	17Cr-12Ni-2.5Mo	32%
NSSC235 I	23Cr-5Ni-1Mo-N	29%

Fe etc.	Fe etc.
2.5%Mo	5%Ni
12%Ni	23%Cr
17%Cr	

SUS316L NSSC2351  
従来のステンレス鋼

区分	従来のタンク(垂直の隔壁+スツール)	水平式波形隔壁+ノンスツール構造
船体断面		
特徴	△構造が複雑である △溶だまりするスツールの洗浄に手間がかかる	○大型船(D≧16m)であってもスツールの設置が必要 ○溶だまりする場所が少なく洗浄性が大幅に向上する △建造時に狭いコファダム内での溶接が必要



高い強度と耐食性を兼ね備えた新素材

受賞者らは、世界で初めて「NSS

に挑んでいる。こうした状況の中、受賞者らは、国内に根ざした技術力と現場力を武器に、世界最高水準の環境性能を有する、次世代型ケミカルタンカーの開発

加えて、CO<sub>2</sub>排出量削減を求めるEEDI(エネルギー効率設計指標)規制は年々厳しさを増しており、ニッケルやモリブデンといったレアメタルを多く含むステンレス素材の価格高騰、地政学的リスクの高まりなど、造船業界を取り巻く事業環境は複雑化している。

国際競争の荒波の中で、日本の物流を支える造船業

日本の造船業は今、国際競争の荒波の真ただちにある。ケミカルタンカーは、生活回りをはじめ私たちの暮らしに欠かせない液体化学品を運ぶ、極めて専門性の高い貨物船である。2023年時点の全船種の建造シェアは、中国が49%、韓国が29%、日本は16%を占めていたが、現在では中国が約62%まで拡大し、日本は僅か11%程度にまで低下している。ケミカルタンカーもその例外ではない。日本全体の貿易は99%を船舶輸送が担っているにもかかわらず、使用している船舶のほとんどが中国・韓国製というのが現状だ。

燃費を半減させた革新技術と市場からの高評価

さらなる新型舵システム「GateRudder」、風力推進アシスト装置「VentFoil」、空気抵抗を軽減する流線形居住区など、EEDI対応の最新技術も積極的に導入し、環境性能と運航効率の両立を可能にしている。これらの改良により燃費は大幅に向上し

設計面では、船体中央にコファダム構造を設けることで、性質の異なる製品を並列して積載することが可能となり、積み付けパターンの柔軟性が向上。これにより、積載効率の最適化が図られている。さらに、水平式波形隔壁とノンスツール構造の採用により、洗浄作業の省力化を実現。揚荷後の作業負担が軽減され、船の稼働率向上にもつながっている。

審査員の視点

時宜を得た製品開発で、市場シェアを拡大

中国勢が価格面で市場シェアを広げる中、技術陣の総力を結集し、顧客の要望に沿ったタンカーを開発。既に大型受注が決まるなど成果が表れ始めている。

た。燃料消費量は、従来船(J-19型)の28.7t/dayから17.6t/dayへと、ほぼ半分近くまで削減された。こうした取組はすでに市場から高く評価されており、同型船にて約3年分の仕事を確保し、受注総額は約800億円にのぼる。建造には大半が国内製の素材を使用していることから、国内及び周辺地域への経済波及効果は大きい。雇用創出や技術承継に加え、海外依存を減らすことで地政学リスクの低減にも貢献している。日本発の高付加価値船が、経済安全保障の観点からも重要な役割を果たしている。

山形からめっきでレボリューション!

# 業界初となる革新的 めっき加工部品の開発と量産化



第10回  
ものづくり日本大賞

優秀賞

製造・生産プロセス部門



写真左から、漆山健一、長岡司、多田悦子、鈴木尚徳、保科由美子、松橋大輔、町田俊信

受賞件名

電動車分野をめっきで  
レボリューション!

受賞者  
(全員)

スズキハイテック株式会社

リーダー 鈴木 尚徳

漆山 健一 / 町田 俊信 / 多田 悦子 / 保科 由美子 / 長岡 司 / 松橋 大輔

受賞理由

01 革新的な製造・生産プロセスで  
顧客の高い信頼とシェアを獲得

02 売上が4倍に拡大!中小から中堅、  
そして100億企業への成長を目指す

## 受賞者メッセージ

この度は荣誉ある賞を頂き誠にありがとうございます。本事業の開発・立上に関わったメンバー以外にも社内外の多くの方の支援により受賞できたことに心より感謝申し上げます。求められる安全・品質に答えるべく試行錯誤の繰り返しでした。経営理念の『山形からめっきでレボリューション!』を旗印に、これからも山形から開発・製造した製品を世界へ発信し、新しい時代に挑戦を続けて参ります。

## 会社概要

商号：スズキハイテック株式会社 設立：1914年  
従業員数：264名  
事業内容：電動車部品 (BEV, HEV, PHEV) めっき加工  
パワー半導体めっき加工  
MEMS精密電鍍・産学官研究開発

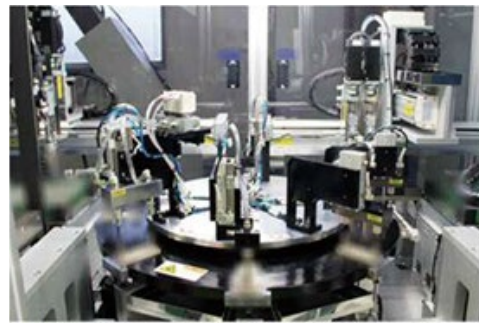
## お問い合わせ先

スズキハイテック株式会社

〒990-0051 山形県山形市銅町2丁目2-30  
TEL:023-631-4702  
<https://www.sht-net.co.jp/>



## 省人化を実現しためっき加工・検査ライン



電動車時代を支える  
革新的めっき  
量産プロセスの確立

本案件は、タイトルに「電動車分野をめっきでレボリューション！」とあるとおり、新型ハイブリッド車向け内燃機関部品のめっき製造・生産プロセスを革新した事業である。自動車業界におけるCASE時代への転換を背景に、燃費性向上と高出力化を両立すべく、高耐久性・低騒音化を部分めっき技術で実現した。

最大の技術的突破は、微細端面および内径の限定範囲に対し、硬質クロムめっき(Hv1,000以上)を高精度均一膜厚で処理を行う量産技術の確立である。特に部品内径への範囲限定のめっき処理は極めて難易度が高く、電着金属使用量を表面積比で約90%削減する環境配慮型プロセスを実現した点は業界内でも画期的な取組と言える。

また、業界初となる全数検査・全数保証体制を実現した。蛍光X線膜厚自動測定装置、画像検査装置、内径測定用センサーなどを開発・導入することで、従来多数の人員を要した検査工程を大幅に省力化することを可能にした他、全製品にQRコードを刻印し、MES(製造実行システム)と連携することで、製造履歴・検査履歴を一元管理し、緻密なトレーサビリティと顧

客サポートを実現している。

2022年より本格量産を開始し、生産規模を徐々に伸長、今後さらにも拡大する予定。これからも日本の電動車分野における国際競争力強化に貢献していく。

社会課題解決と  
持続的成長を両立する  
事業モデル

本案件は、当社として「2050年カーボンニュートラル」への対応を軸に、ガソリン車中心から電動車向け事業へ転換した成長戦略の中核となる。燃費性能向上により搭載車種拡大、グローバル生産車両への搭載も拡大し、2030年には現在の2倍の生産を計画している。

国内めっき市場が縮小傾向にある中、当社は長年培っためっき技術で新たな市場性を追求してきた。今後も開発主導型企業への転換を進め、高度外国人材・女性管理職・技能人材が活躍するダイバーシティ経営を推進する。本分野における設備投資も積極的に行い、地域における大きな経済波及効果も見込んでいる。今回確立しためっき技術は、技術革新・環境配慮・生産性向上を両立した次世代型めっき事業のモデルとなるだけでなく、xEV分野・パワー半導体分野にも応用可能である。当社は、電動車部品の総合めっきメーカーとして100億円規模への成長を目指す。

## 審査員の視点

### 中小ものづくり企業の模範となる取組

市場全体が縮小する中でも、長年培っためっき技術の新たな可能性と市場性を追求し、チーム一丸となって技術開発に取り組んだ成果であり、企業の飛躍的成長にもつながっている。

受賞件名

## 製材加工の全自動ライン確立による生産性向上

受賞者  
(全員)

### 株式会社庄司製材所

リーダー ▶ 庄司 和敏

庄司 勲 / 庄司 剣 / 庄司 潤 / 庄司 満哉 / 柿崎 喜一 / 大橋 一司\*

※株式会社シーケーエス・チューキ



第10回  
ものづくり日本大賞

## 東北経済産業局長賞

製造・生産プロセス部門

### 受賞者メッセージ

この度はこのような名誉ある賞を頂きありがとうございます。弊社では山から出る物はすべて残さず資源にしています。木の皮(バーク)は弊社のシュミッド製1600kのボイラーの燃料に使用し、乾燥施設の熱にしています。また端材は乾燥チップ・おがくず・ペレットとして、公共ボイラー・温泉施設・家畜の敷き藁・キノコ栽培・ペレットストーブ等に幅広くご利用いただいております。この賞を機に社員一同更に精進していききたいと思います。



上: 左から  
庄司剣、庄司潤、柿崎喜一、庄司満哉  
下: 左から庄司和敏、庄司勲



全自動製材ライン

当社は大型工場には珍しい羽柄材専門のメーカーである。山々の木々は先祖が切つては植えながら活用してきた持続可能な資源であり、1本の苗木を植えてから利用できるまで60年、人間の一生の時間が必要となる。ゆえに木々を大切に活用する必要がある、無駄なく効率的に木々を活用できるアイデアを機械メーカーに提案し、大型の製材機械の開発・設備も行っている。

材・バーク等を制作・仕分可能な全自動製材ラインを開発した全国初の試みである。  
最新AI機能の導入により、従来7-8名の人員が必要だった生産工程について機械管理者1名での対応が可能となり、納期の短縮や飛躍的な生産性の向上を実現した。国内製材需要が拡大する中、本システムの横展開も検討しており、業界への波及に期待している。

#### 会社概要

商号: 株式会社庄司製材所  
設立: 1986年3月10日 従業員数: 78名  
事業内容: 一般製材業

#### お問い合わせ先

株式会社庄司製材所  
〒999-5603 山形県最上郡真室川町大字大滝108-2  
TEL: 0233-66-2032



第10回  
ものづくり日本大賞

## 東北経済産業局長賞

製品・技術開発部門

受賞件名

世界初!睡眠の質を改善する  
三陸イサダオイル粉末素材製造  
技術開発

受賞者  
(全員)

株式会社 國洋

リーダー▶ 濱田 浩司

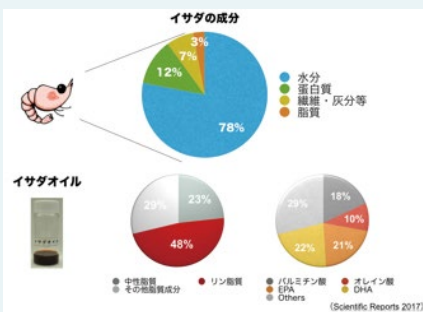
濱田 英義/濱田 育瑛/村上 修悦/下館 美佳子/安田 俊太郎/山田 秀俊\*  
※学校法人帝京科学大学

### 受賞者メッセージ

この度の受賞を大変うれしく思います。この40年以上安値が続いてきた三陸のイサダを、高付加価値で身体に良い物として提供できる事が出来て良かったと思います。ただ、これからの販売が大きな課題となります。現在、睡眠で機能性表示食品の申請を行っており、これが取得できればまた新たな方向が見えてくるものと思っています。人もさることながら、ペットに関しても大きなマーケットがあると思いますので積極的に進めていきたいと思っています。



左から濱田 浩司、村上修悦、下館美佳子



イサダ魚の様子

本技術は、三陸沿岸で漁獲されるツノナシオキアミ(イサダ)に含まれる機能性脂質に着目し、世界で初めてイサダオイル粉末の量産化技術を確立した取組である。

イサダオイルは粘性が高く、成分の画分分離や安定化が困難であることが実用化の大きな障壁となっていたため、酵素分解による前処理と環境負荷の少ない遠心分離法を組み合わせた独自技術を産学連携で開発し、有効成分を高純度で抽出・粉末化することに成功した。また、自社プラントを整備し、安定した量

産体制を構築したことで、食品加工原料やサプリメント素材として幅広い用途展開を可能とした。

本技術は水産未利用資源の高付加価値化を実現するとともに、機能性表示食品市場という新たな市場創出にも寄与するものである。加えて、漁業閑散期の貴重な収入源であるイサダ需要の拡大を通じ、地域水産業の持続的発展と雇用創出にも貢献する革新的なものづくりである。

#### 会社概要

商号：株式会社 國洋  
設立：1980年9月2日 従業員数：70名  
事業内容：水産加工品の製造および販売、油調理製品製造販売、イサダ乾燥品製造販売、冷蔵保管、製水販売他

#### お問い合わせ先

株式会社 國洋

〒022-0002 岩手県大船渡市大船渡町字下平4番地1

TEL:0192-27-1611(代) <http://www.kokuyo-iwate.com>



受賞件名

## 磁場の特性をフル活用して 様々な動作・機能を可能にした 非接触動力伝達装置

受賞者  
(全員)

### 株式会社プロスパイン

リーダー 操谷 欽吾

佐藤 勝 / 門田 賢二 / 池田 清隆 / 鈴木 雄真 / 立谷 雄一 / 大沼 学



第10回  
ものづくり日本大賞

## 東北経済産業局長賞

製品・技術開発部門

### 受賞者メッセージ

独自開発した「磁石を用い非接触で動力伝達する磁気製品」は、クリーン性、耐久性等、人、物、地球に優しい技術です。しかし磁気製品には特有の課題(トルク、生産性等)があり、これを磁場解析や特殊生産装置の導入で解決、現在多様な分野の製造・加工装置等に提供しております。これは非接触技術の可能性を信じ協力いただいた方々のお陰と感謝申し上げます。引き続き非接触をキーワードに夢のある製品を発信してまいります。



後列の左から大沼学、立谷雄一、門田賢二  
前列の左から池田清隆、操谷欽吾、佐藤勝、鈴木雄真



レコードプレーヤー  
駆動源からの振動を遮断し音質向上



業務用ブレンダー  
モータ部から食材への入熱なし

当社は独自の磁場シミュレーション技術、設計技術を駆使して客先のニーズに合わせた様々な大きさ、形の磁気製品を開発している。  
1対1で動力を伝える磁気カップリングに加えて、回転速度を変え、変速機構や回転運動を直線運動に変える機構など、機械式歯車で実現している様々な動作を磁気式歯車により非接触で再現している。また、磁石とヒステリシス材料を組み合わせたブレーキ、吸引力と反発力の両方を利用したクラッチなどの応用製品も製造・販売している。

接触式の歯車に比べて非接触の

ため壁を隔てた動力伝達が可能、摩耗がなくメンテナンスや定期交換が不要、異物の噛込み等による異常停止がない、過負荷時に空転して破損を防ぐ、音が静かななど多くの優位性を持つ。  
現在搬送装置から音響機器とといった幅広い分野での採用も進んでおりユーザー製品へ新たな付加価値創出に寄与している。

#### 会社概要

商号：株式会社プロスパイン  
設立：1978年 従業員数：51名  
事業内容：磁気製品の設計及び製造販売、金型部品の製造

#### お問い合わせ先

#### 株式会社プロスパイン

〒987-1305 宮城県大崎市松山次橋字新千刈田117番地  
TEL:0229-54-1320 <http://www.prospine.jp/>





第10回  
ものづくり日本大賞  
**東北経済産業局長賞**

製品・技術開発部門

受賞件名

メタボローム解析を活用した  
世界に通ずる庄内産日本ワインの  
開発製造

受賞者  
(全員)

エルサンワイナリー松ヶ岡株式会社

リーダー▶ 早坂 剛

川島 旭/早坂 勝/芦野 淳/沓澤 豊生/齋藤 歩

**受賞者メッセージ**

第10回ものづくり日本大賞をいただき感謝でいっぱいです。  
弊社は2017年に松ヶ岡で初めてブドウの苗を植えワイン造りを始めました。昨年は弊社の”鶴岡甲州 2023”が世界で誇れる“IWC2025”でゴールドメダルを獲得し山形産ワインが一躍世界で認められるようになりました。今回の受賞は経験と勤に頼るだけでなく慶應義塾大学先端生命科学研究所、山形大学農学部の科学的裏付けでワイン造りに挑戦した努力の賜物です。

左から、芦野淳、齋藤歩、沓澤豊生、川島旭、早坂勝、早坂剛



グラビティ・フロースystem



ワインの醸造風景

当社のワイナリーのある松ヶ岡地区は、明治維新後にシルク産地として日本の近代化を支えた歴史と誇りを持つ地域である。この地は、最先端と呼ばれるものもやがて当たり前になることを経験から理解し、一過性の先進性ではなく、地域資源に根ざした本質的価値の創造を重視している。

慶應義塾大学先端生命科学研究所と連携し、ブドウの成分や土壌、気候などのテロワールを科学的に把握し、醸造工程をデータに基づき最適化している。

また、温度、湿度を管理し、ぶどうのポテンシャルを最大限に引き

出す独自のグラビティ・フロースystemを用いて果実への負荷を抑え徹底的に醸造、熟成を実践し、国際コンクールで金賞を含む最高賞を受賞している。

日本遺産・サムライシルク松ヶ岡開墾場の景観と精神を尊重し、歴史・自然・人の力を結集して地域文化を継承するため、持続可能な価値創出や地域活性化、若者定着を推進している。

会社概要

商号：エルサンワイナリー松ヶ岡株式会社  
設立：2017年 従業員数：5名  
事業内容：ワイン醸造、ブドウ栽培

お問い合わせ先

エルサンワイナリー松ヶ岡株式会社  
〒997-0801 山形県鶴岡市東原町17-7  
TEL:0235-24-4633 <https://pinocollina.com>



受賞件名

# 電源基板用のノイズフィルターコイルを 根底から革新した、 世界標準の「ウエノコイル」

受賞者  
(全員)

## 株式会社ウエノ

リーダー 上野 隆一

武田 陽志 / 山本 晃毅 / 齋藤 幸宏 / 五十嵐 玄 / 佐久間 雅之\*

\*株式会社アルテック京都



第10回  
ものづくり日本大賞

## 東北経済産業局長賞

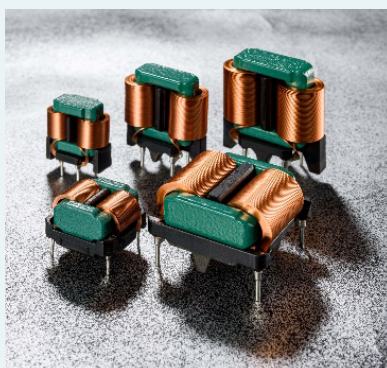
製品・技術開発部門

### 受賞者メッセージ

この度は栄えある東北経済産業局長賞を頂戴し誠に光栄に存じます。関係する皆様のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。弊社は、ノイズフィルターコイル専門メーカーとして、コイルおよび自動巻線機の開発に常に挑戦を続けてまいりました。現在も、新たに銅被膜アルミ線(CCA線)使用コイルを開発しております。この受賞を励みとし、高性能コイルの製造によって社会貢献できるよう尚一層精進して参る所存です。



左から、五十嵐玄、上野隆一、武田陽志、齋藤幸宏



ウエノコイル



弊社は、コイルはリング形状という常識を取り払い、高速自動巻線が可能で、ノイズ除去特性に優れた四角形状のコイル「ウエノコイル」を開発した。

従来、電源のノイズを除去するノイズフィルターコイルには、リング状のコイルすなわちトロイダルコイルが使用されてきた。リング形状は磁路の長さが最短で漏れ磁束が少ないため、この形状に勝るノイズフィルターコイルは無いとするのが業界の常識であった。

しかし、このコイルの最大の弱点は、巻線工程を手作業に頼らざるを得なかったことにある。手作業

よりもスピードが速く低コストの自動巻線機を造れなかったのである。「ウエノコイル」では、電線を引張りながら巻くという発想を転換し、押ししながら巻く方法を取り入れ、高速巻線機を実現した。更に、丸い電線ではなく平角電線を使用したことにより電線間の密度が高くなり、ノイズ除去特性を格段に向上させることができた。

#### 会社概要

商号：株式会社ウエノ  
設立：1984年5月 従業員数：86名  
事業内容：ノイズフィルターコイルの設計製造

#### お問い合わせ先

#### 株式会社ウエノ

〒999-7634 山形県鶴岡市三和字堰中100  
TEL:0235-64-2254 <https://www.uenokk.co.jp/>





第10回  
ものづくり日本大賞

## 東北経済産業局長賞

製品・技術開発部門

受賞件名

新機構「手動解除機能」を備えた  
EV向け永久磁石式電磁ブレーキの  
開発・製造

受賞者  
(全員)

ケーイービー・ジャパン株式会社

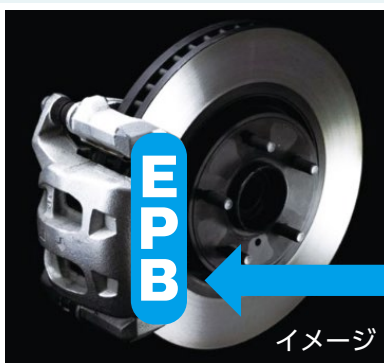
リーダー 鈴木 生洋

大場 智子/大友 賢治/青柳 昭博/加藤 玲

### 受賞者メッセージ

この度は、このような荣誉ある賞をいただき大変光栄に存じます。自動車分野への進出を目指して開発した「EV向けEPB(電気パーキング)用電磁ブレーキ」は、特許を取得した新機構を組み込み、電源供給がない状態でのブレーキ解除が可能です。この新機構は、バスや電車の扉、医療機器、ロボットなど、様々な分野への応用が期待できます。今後も、当社の開発力、技術力を活かして、魅力的なものづくりに邁進してまいります。

左から、加藤玲、大友賢治、鈴木生洋(社長)、小野和也(副社長)、青柳昭博、大場智子



①既存製品(COMBIPERM)



②試作品(COMBIPERM+新機構)



当社は、EV市場への参入を目指して、EV向けのEPB(電気パーキングブレーキ)用電磁ブレーキの開発に取り組んだ。EVの航続距離延伸のために、搭載部品の軽量化を実現したいと考え、当社の既存製品である永久磁石式電磁ブレーキ(KEBCOMBIPERM)に、新機構である手動解除機能を組み込んだ。高性能でありながらコンパクトで、部品点数の少ないKEBCOMBIPERMをベースにしていることから、EVのEPBシステムの軽量化が実現できる。また、新機構によって、電源供給が停止した状態でもレバーを動かすだけでブレーキ操

作が可能となるため、車両トラブルや災害時の安全確保に有効である。当社既存製品の確かな性能+新機構による操作性・安全性の向上という付加価値を備えた新製品の「永久磁石式電磁ブレーキ」は、EVやバス、電車の扉、ロボットなど、様々な分野への応用ができ、環境への負荷低減に貢献できるものである。

#### 会社概要

商号：ケーイービー・ジャパン株式会社  
設立：1976年 従業員数：42名  
事業内容：電磁クラッチ・ブレーキの製造販売、インバータ・サーボシステム・減速機付モータ・付帯機器の販売

#### お問い合わせ先

ケーイービー・ジャパン株式会社  
〒996-0053 山形県新庄市福田字福田山711番地103  
TEL:0233-29-2800 <https://www.keb.jp/>



受賞件名

## クラッド材を使用したEV 自動車向け電極プラグの開発

受賞者  
(全員)

石橋工業株式会社

リーダー 石橋 トモ子

矢吹 浩



第10回  
ものづくり日本大賞

### 東北経済産業局長賞

製品・技術開発部門

### 受賞者メッセージ

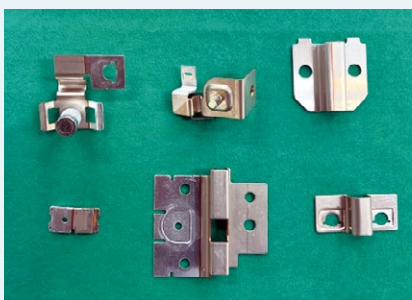
この度は栄えある賞を頂き誠にありがとうございます。弊社は自動車部品関連を中心に金型設計製作から金属プレス加工、組立てまで一貫受注体制を基本に行っています。今回取り組んだ異種材加工は独自技術の構築により量産加工が安定して出来るようになりました。これからもたゆまぬ技術革新、高度な加工技術の開発、フレキシブルな発想でお客様へ満足が提供できるよう努めて参ります。



中央に石橋 トモ子、右端に矢吹 浩(ほか所属企業の方々)



クラッド材



試作品

EV向け電極プラグの製造工程は従来複雑であり、①高価格、②高重量、③小型化が困難という課題があった。  
従前の電極プラグは正極のアルミニウムと負極の銅をそれぞれプレス加工し、ボルト・ナットによる締結加工を行う必要があったが、本技術はアルミと銅が結合されたクラッド材にプレス加工を施すことで工程

を削減し、ボルト・ナットを使用しない新たなEV向け電極プラグの供給を実現した。

また、クラッド材は一般的にコイル形状であり、通常のプレス加工では切断後の金属素材がロール状に丸みを帯びることから高精度の加工が困難であった。当社はこの課題に対し、コイルから直接クラッド材を引っ張ることで、水平状態を保ったままプレス加工を行う独自工法を確立し、国内で初めて量産化に成功した。

本技術により、電極プラグの性能を従来どおり維持しつつ、軽量化かつ低価格化を実現し、取引先からも高評価を受けている。

#### 会社概要

商号：石橋工業株式会社  
設立：1957年 従業員数：44名  
事業内容：金属製品製造業

#### お問い合わせ先

#### 石橋工業株式会社

〒963-0112 福島県郡山市安積町成田字三渡1

TEL:024-945-3411 <https://ishibashi-ind.com/>





第10回  
ものづくり日本大賞

## 東北経済産業局長賞

伝統技術の応用部門

受賞件名

和食を世界へ。  
食の多様化に完全対応した  
「金箔しいたけ」と「北斎旨みだし」

受賞者  
(全員)

## 株式会社北斎

リーダー 齊藤 努

能登谷 典之<sup>※1</sup> / 中村 充滋<sup>※2</sup> / 吉田 太香子<sup>※3</sup>

※1 地方独立行政法人青森県産業技術センター ※2 株式会社中村醸造元 ※3 合同会社ホワイトベア

### 受賞者メッセージ

この度は東北経済産業局長賞という  
荣誉ある賞を賜り、心より御礼申し上げ  
ます。本受賞は、青森県産業技術セ  
ンターをはじめとする共同研究機関  
ならびに障害福祉サービス事業所と  
の連携の賜物です。菌類の天然旨味  
に着目した「金箔しいたけ」と「北斎旨  
みだし」を通じ、食の多様化と持続可  
能な社会の実現に貢献できることを  
大変光栄に思います。今後も東北発  
の技術と素材から、日本の天然旨味  
を世界へ発信して参ります。

左から青森県産業技術センター能登谷典之、  
株式会社北斎齊藤努、株式会社中村醸造元中村充滋、  
(同)ホワイトベア吉田太香子



金箔しいたけ



しいたけ栽培の様子

本案件は、菌類が持つ天然の旨  
味成分に着目し、青森県産業技術  
センターおよび合同会社ホワイトベ  
アとの共同研究により、独自加工  
で干し椎茸の約20倍の旨味(グア  
ニル酸)を含有する新素材「金箔  
しいたけ」を開発し、植物由来の  
天然旨味調味料「北斎旨みだし」  
として事業化したものである。

従来の和食は動物性だしや小  
麦・アルコールを含む調味料に依  
存し、アレルギーやコーシャ対応、小麦  
アレルギー対応が難しいという課題  
があったが、本技術により動物性  
原料・小麦・アルコール不使用で  
本格的な和食の味を再現し、世界

中の多様な食規範やプラントベース  
志向への対応を可能とした。

さらに障害福祉サービス事業所  
との連携による雇用創出や、インバ  
ウンド・海外市場への展開を通じ、  
日本の食文化の国際発信と持続可  
能な食の実現に貢献している。

#### 会社概要

商号：株式会社北斎  
設立：2016年10月3日 従業員数：12名  
事業内容：調味料製造業、そうざい製造業、天然旨味素材の研究開発・  
製造業、食品卸売業

#### お問い合わせ先

#### 株式会社北斎

〒030-0947 青森県青森市浜館2丁目2番地14  
TEL:017-772-2628 <https://hokusai.co.jp>



受賞件名

# 精密部品切削加工技術と会津の 伝統工芸を融合させた“あいくし”の開発



第10回  
ものづくり日本大賞

## 東北経済産業局長賞

伝統技術の応用部門

受賞者  
(全員)

### 株式会社サンブライト

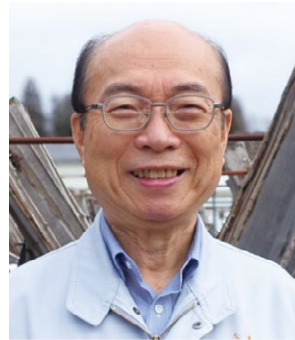
リーダー 渡邊 忍

五十嵐 孝<sup>※1</sup> / 山田 悦史<sup>※2</sup> / 阿久津 昌生<sup>※3</sup> / 傳 礼央那<sup>※4</sup> / 板橋 充是<sup>※5</sup>

※1 株式会社ユーアイツ ※2 山田木綿織元 ※3 大洋印刷株式会社  
※4 LLP RD, JAPAN ※5 会津桐タンス株式会社

### 受賞者メッセージ

この度は東北経済産業局長賞を授与いただき誠に光栄に思います。弊社は非鉄金属の切削加工を行っており、主にカメラを中心とした光学業界に強みを持っています。伝統工芸と現代工業の融合で新しい価値を創造するというコンセプトで、地元会津の企業とプロジェクトを立ち上げ、商品開発に取り組んで参りました。受賞を励みに、これからも会津から、ものづくりの高度な技術を集結し、新たな価値を生み出し発信していけるよう精進して参ります。



上左:会津桐タンス 板橋充是 上中央:山田木綿織元 山田悦史  
上右:ユーアイツ 五十嵐孝 下左:LLP RD, JAPAN 傳礼央那  
下中央:サンブライト 渡邊忍 下右:大洋印刷 阿久津昌生

#### あいくしを構成する5つの要素



削り



UV漆



蒔絵



会津木綿



会津桐

弊社は東日本大震災を機に大熊町から会津若松市へ工場を移転しているが、会津地域の方々の助けがなければ企業として存続出来なかった。  
会津地域への恩返しと、会津のものづくりを世界に発信したいという思いから、震災後に出来たご縁を基に、伝統工芸を受け継ぐ会津の地元企業と精密部品加工の弊社が結集し、Aid\_U(エイドユー)という団体を組織し商品開発を行っている。  
その商品第一弾が「あいくし」である。会津の「あい」と「愛」ととって名付けた「あいくし」は、

独自の3D形状と漆の静電気抑制効果で、髪にやさしく、かつ艶を出す効果が非常に高い。弊社が加工を得意としている、実用金属の中で最も軽いマグネシウム合金を1/100ミリ単位の精度で削り出し、その上に金属にも塗ることが出来る特殊な漆や蒔絵(まきえ)を施した逸品で、会津桐の箱に収め会津木綿の袋とともに販売される。

#### 会社概要

商号：株式会社サンブライト  
設立：1991年10月 従業員数：70名  
事業内容：高級機種カメラ部品の製造、プロ、セミプロが使用するカメラ部品の製造、その他精密部品加工全般

#### お問い合わせ先

#### 株式会社サンブライト

〒969-3464 福島県会津若松市河東町工業団地2-3  
TEL:0242-76-1020 <https://www.sunbright-f.co.jp>



# ものづくり日本大賞

## 受賞実績

(東北経済産業局管内関係)

### 優秀賞

- |     |                     |         |
|-----|---------------------|---------|
| 第1回 | 日進工具株式会社            | 宮城県大和町  |
|     | NECトーキン株式会社         | 宮城県仙台市  |
|     | 株式会社セーコン            | 秋田県大仙市  |
|     | 東北リコー株式会社           | 宮城県柴田町  |
| 第2回 | 北上ハイテクペーパー株式会社      | 岩手県北上市  |
|     | 山形カシオ株式会社           | 山形県東根市  |
|     | 富士通株式会社岩手工場         | 岩手県金ケ崎町 |
|     | 独立行政法人産業技術総合研究所     | 宮城県仙台市  |
| 第3回 | 株式会社ヨコタ東北           | 山形県新庄市  |
|     | 株式会社ティ・ディ・シー        | 宮城県利府町  |
| 第4回 | 株式会社南部美人            | 岩手県二戸市  |
|     | 株式会社高橋工業            | 宮城県気仙沼市 |
|     | 株式会社リード             | 宮城県亶理町  |
|     | 東洋システム株式会社          | 福島県いわき市 |
| 第5回 | 株式会社斉藤光学製作所         | 秋田県美郷町  |
|     | 弘進ゴム株式会社            | 宮城県仙台市  |
|     | 株式会社斎藤金型製作所         | 山形県長井市  |
| 第6回 | 吉川化成株式会社            | 岩手県奥州市  |
|     | ネムール株式会社            | 山形県山形市  |
|     | NECパーソナルコンピュータ株式会社  | 山形県米沢市  |
| 第7回 | 株式会社アクトラス           | 秋田県横手市  |
|     | バイスリープロジェクト株式会社     | 宮城県仙台市  |
| 第9回 | ファイトケミカルプロダクツ株式会社   | 宮城県仙台市  |
|     | ロボコム・アンド・エフエイコム株式会社 | 福島県南相馬市 |
|     | 東新工業株式会社            | 福島県いわき市 |
|     | セルスペクト株式会社          | 岩手県盛岡市  |

### 内閣総理大臣賞(経済産業省関係)

- |     |          |        |
|-----|----------|--------|
| 第4回 | 齋栄織物株式会社 | 福島県川俣町 |
| 第6回 | 株式会社天童木工 | 山形県天童市 |

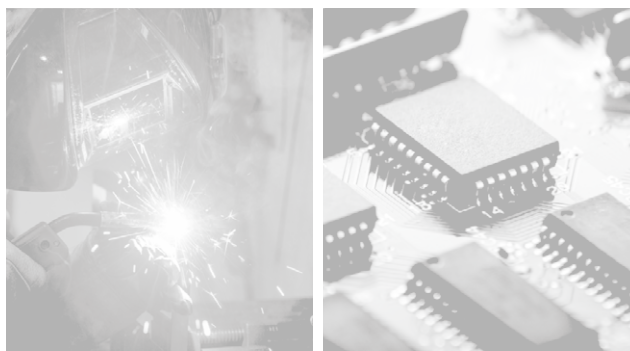
### 経済産業大臣賞

- |     |                  |          |
|-----|------------------|----------|
| 第1回 | ソニーエナジー・デバイス株式会社 | 福島県郡山市   |
|     | 株式会社坂本乙造商店       | 福島県会津若松市 |
| 第2回 | ルーフシステム株式会社      | 福島県喜多方市  |
|     | 株式会社織元山口         | 山形県米沢市   |
| 第3回 | マクセルファインテック株式会社  | 宮城県亶理町   |
|     | 佐藤繊維株式会社         | 山形県寒河江市  |
|     | オリエンタルカーペット株式会社  | 山形県山辺町   |
| 第4回 | 株式会社サンビックス       | 福島県郡山市   |
| 第5回 | フロンティア・ラボ株式会社    | 福島県郡山市   |
|     | 株式会社クレハ          | 福島県いわき市  |
| 第6回 | 株式会社いおう化学研究所     | 岩手県盛岡市   |
|     | 株式会社森環境技術研究所     | 山形県新庄市   |
|     | 古河電池株式会社         | 福島県いわき市  |
|     | 有限会社東北工芸製作所      | 宮城県仙台市   |
| 第7回 | 株式会社東亜電化         | 岩手県盛岡市   |
|     | ヤグチ電子工業株式会社      | 宮城県石巻市   |
|     | 株式会社IBUKI        | 山形県河北町   |
|     | 大七酒造株式会社         | 福島県二本松市  |
| 第8回 | 株式会社小滝電機製作所      | 秋田県大館市   |
|     | 秋田エプソン株式会社       | 秋田県湯沢市   |
|     | 株式会社アイカムス・ラボ     | 岩手県盛岡市   |
| 第9回 | インスペック株式会社       | 秋田県仙北市   |

### 特別賞

- |     |             |         |
|-----|-------------|---------|
| 第3回 | 加美電子工業株式会社  | 宮城県加美町  |
| 第4回 | NECトーキン株式会社 | 宮城県白石市  |
|     | 林精器製造株式会社   | 福島県須賀川市 |
| 第5回 | 株式会社水沢鑄工所   | 岩手県奥州市  |
| 第6回 | 株式会社ミヤギタノイ  | 宮城県七ヶ宿町 |
|     | 株式会社シェルター   | 山形県山形市  |
| 第7回 | 株式会社デザインココ  | 宮城県仙台市  |
|     | 米富繊維株式会社    | 山形県山辺町  |
| 第8回 | キョーユー株式会社   | 宮城県美里町  |

※掲載当時の情報であって代表企業名のみ



## 東北経済産業局長賞

	ステンレスペイント有限公司	宮城県仙台市	第2回	NECパーソナルプロダクツ株式会社	山形県米沢市
	株式会社アットシステム	宮城県名取市		東北リコー株式会社	宮城県柴田町
	株式会社マツザワ	秋田県秋田市		後藤電子株式会社	山形県寒河江市
	テクノ・モリオカ株式会社	山形県長井市		アルパイン株式会社	福島県いわき市
	山形カシオ株式会社	山形県東根市		協和精工株式会社	秋田県湯沢市
	あおもり藍産業協同組合	青森県青森市		東光鉄工株式会社	秋田県大館市
	有限会社山形工房	山形県長井市		及源鋳造株式会社	岩手県奥州市
第7回	株式会社コウナン	青森県三沢市		宮城県産業技術総合センター	宮城県仙台市
	ジャスト株式会社	山形県上市市	第3回	株式会社住田光学ガラス	福島県南会津町
	株式会社チノー山形事業所	山形県天童市		株式会社ウエノ	山形県鶴岡市
	株式会社テクニカル	青森県弘前市		株式会社MECARO	秋田県潟上市
	トヨタカローラ八戸株式会社	青森県八戸市		株式会社フミン	福島県福島市
	泰光住建株式会社	宮城県仙台市		株式会社ウンノ土地	福島県いわき市
	株式会社新田	山形県米沢市		日進工具株式会社	宮城県大和町
	田山鐵瓶工房	岩手県滝沢市		株式会社ファインラバー研究所	福島県泉崎村
	陶來	岩手県滝沢市		富士ダイス株式会社	福島県郡山市
	株式会社菊地保寿堂	山形県山形市		トライポッドワークス株式会社	宮城県仙台市
第8回	プレファクト株式会社	山形県東根市		株式会社クラーク	青森県弘前市
	大青工業株式会社	青森県青森市	第4回	盛岡セイコー工業株式会社	岩手県雫石町
	株式会社ケディカ	宮城県仙台市		有限会社テクノ・キャスト	宮城県大崎市
	株式会社にしき食品	宮城県岩沼市		東北電子産業株式会社	宮城県利府町
	アルファ・エレクトロニクス株式会社	秋田県由利本荘市		株式会社宮腰デジタルシステムズ	秋田県横手市
	アルス株式会社	山形県米沢市		株式会社高研	山形県鶴岡市
	株式会社石井製作所	山形県酒田市		ソニーエナジー・デバイス株式会社	福島県郡山市
	株式会社シェルター	山形県山形市		クニミネ工業株式会社	福島県いわき市
	株式会社ナガオカ	山形県東根市	第5回	株式会社プラモール精工	宮城県富谷市
	ミクロン精密株式会社	山形県山形市		東和食品株式会社	岩手県宮古市
	有限会社渡辺鋳造所	山形県山形市		株式会社ベスト	山形県鶴岡市
	石川染工株式会社	山形県山辺町		東北パイオニア株式会社	山形県天童市
	有限会社奥山メリヤス	山形県寒河江市		有限会社今木地製作所	青森県田舎館村
第9回	株式会社デンソー岩手	岩手県金ケ崎町		ニッコム株式会社	青森県三沢市
	合同会社良品店	福島県南会津町		クリナップ株式会社	福島県いわき市
	株式会社社会津工場	福島県只見町		かねさ株式会社	青森県青森市
	株式会社宮城化成	宮城県栗原市		テクマン工業株式会社	山形県鶴岡市
	株式会社スクリブル・デザイン	宮城県利府町		パナソニック株式会社	福島県郡山市
	株式会社藤興業	秋田県由利本荘市		日進工具株式会社	宮城県大和町
	株式会社高橋型精	山形県山形市		株式会社ヒラシオ	山形県寒河江市
	株式会社山形メタル	山形県新庄市	第6回	共伸プラスチック株式会社	宮城県大崎市
	株式会社朝日相扶製作所	山形県朝日町		ヤマセ電気株式会社	宮城県美里町
	日商テクノ株式会社	福島県郡山市		日本砥研株式会社	青森県黒石市
	株式会社あかね福祉	福島県郡山市		上北建設株式会社	青森県十和田市
	東北ネチ製造株式会社	福島県いわき市		株式会社ジョイ・ワールド・パシフィック	青森県平川市
	株式会社コンド電機	福島県浅川町		株式会社ガリウム	宮城県仙台市
	株式会社カナザワ建具店	福島県矢祭町			

※掲載当時の情報であって代表企業名のみ

過去の受賞者・企業の紹介



第6回(2016年)



第1回(2005年)



第7回(2018年)



第2回(2007年)



第8回(2020年)



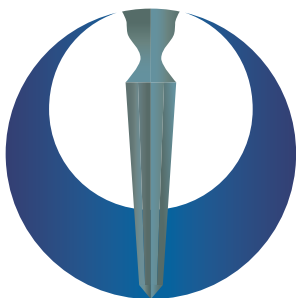
第3回(2009年)



第9回(2023年)



第4回(2012年)



第5回(2014年)





第10回

# ものづくり 日本大賞

東北地方の受賞者・企業紹介

[発行]

経済産業省  
東北経済産業局 地域経済部  
製造産業課

〒980-8403 仙台市青葉区本町3-3-1  
TEL 022-221-4903 FAX 022-265-2349  
<https://www.tohoku.meti.go.jp/>  
発行日 令和8年3月

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。